

お薬のしおり

No.172 (H28.6)

東京医科大学病院 薬剤部

C型慢性肝炎の新しいお薬と世界肝炎デーについて

C型慢性肝炎とは、C型肝炎ウイルス（HCV）の感染によって肝臓に炎症が起こり、肝機能の異常が続く病気です。肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれ、炎症が起きても自覚症状が出にくい一方で、約7割が慢性肝炎へ移行、さらに炎症が続くと肝硬変や肝がんへと進展することがあります。

現在日本では、190万～230万人がC型肝炎ウイルスに感染しているとされており、高齢になるほど頻度は高く、2005年時点の60～69歳では1.18%にもものぼっています。そこで今回は、C型慢性肝炎の新しい治療薬と肝炎デーについてご紹介します。

まず、この病気の進行を抑えるためには、適切な治療を早め開始して、炎症の原因となるC型肝炎ウイルスを体内から排除することがとても大切です。C型肝炎ウイルスは血清型（セロタイプ）によって1型と2型に分けられます。どの治療法を選択するかは患者さんのウイルスの型とウイルス量、年齢、線維化の程度などによって決められます。

<治療>

●抗ウイルス療法：病気の原因であるC型肝炎ウイルスを体内から排除する治療法です。

【インターフェロン製剤】（商品名：スミフェロン、ペガシス、ペグイントロン、フェロンなど）：インターフェロンは体内で作られる物質で、ウイルスの増殖を抑えます。主な副作用は、発熱、頭痛、倦怠感、そう痒症、好中球減少、血小板減少、白血球減少などがあります。また、インターフェロンと併用することでウイルスの増殖の抑制効果が高まるリバビリン（商品名：レボートル、コペガス）を用いることもあります。

【インターフェロンフリー療法】

インターフェロン製剤を用いない治療法で、C型肝炎ウイルスの複製に直接阻害してウイルスの複製を強力に抑制する飲み薬を使用します。飲み薬のみで従来の治療法



よりも高い治療効果を示すと言われてしています。これらの新しい飲み薬の問題点は薬剤にかかる*費用が高いということです。

血清型	成分名	商品名	治療期間
ジェノタイプ1	ダクラタスビル/アスナプレビル	ダクルインザ/スンヘブラ	24 週間
	レジバスビル/ソホスビル	ハーボニー配合錠 (2つの成分の配合剤)	12 週間
	オムビタスビル/パリタプレビル /リトナビル	ヴィキラックス配合錠 (3つの成分の配合剤)	12 週間
ジェノタイプ2	ソホスビル	ソバルディ (リバビリンと併用)	12 週間

服用する際の注意点:お薬の飲み忘れが続くと、血液中の薬の濃度が低下し、C型肝炎ウイルスが再び増える危険性があるため、医師の指示のもと正しく服用しましょう。また、他の疾患で使用している薬や健康食品がC型肝炎の薬の効果に影響を与える場合や、C型肝炎の薬が他疾患の薬の効果に影響することもあります。このため、他に併用しているお薬がある場合には医師又は薬剤師へお伝え下さい。

主な副作用としては、手足のむくみや肝機能異常 (ALT (GPT)の上昇) がみられることがあるため、定期的に血液検査をうけ、むくみなどの症状が現れたら早めに医師や薬剤師へご相談してください。

※参考：インターフェロンフリー治療に対する医療費助成制度があります。患者さんの医療費負担を軽減する目的で、国と都道府県が実施している公的な福祉制度です。詳細は、厚生労働省のHP をご参考ください。

URL http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/080328_josei.html

●肝炎デーについて●

世界保健機関 (WHO) は、2010 年に世界レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を“World Hepatitis Day” (世界肝炎デー) と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。また、日本でも同日を平成24年度から「日本肝炎デー」と定め、肝炎ウイルス検査の受検勧奨、新たな感染予防のため、全ての国民に対して、予防、治療に係る正しい理解が進むよう普及啓発及び情報提供を推進しています。

お薬のことでご不明な点やご不安な点がある場合には、医師又は薬剤師までご相談ください。

